

大東亞建設民族人口資料七  
昭和十七年三月十日

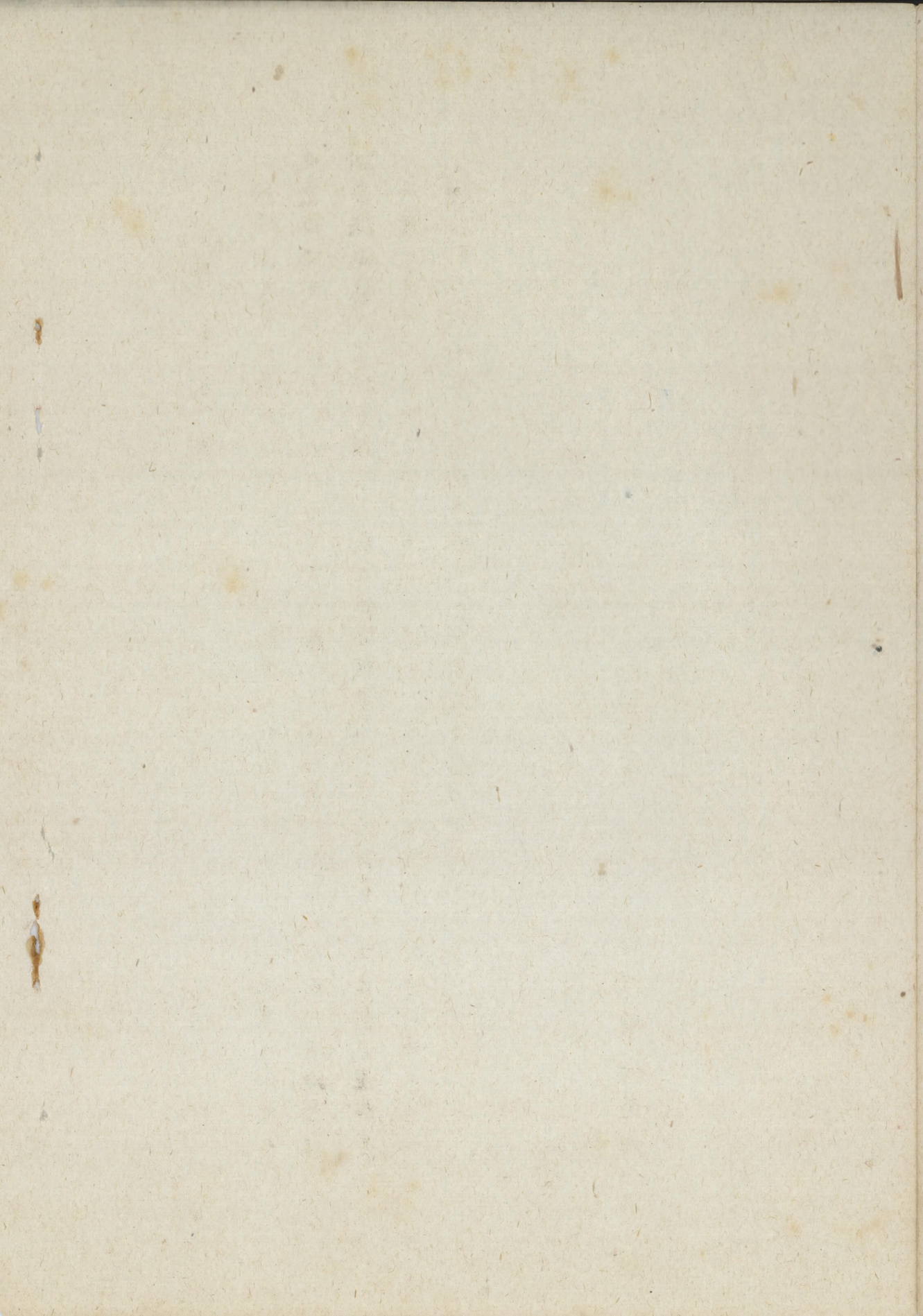
南方共榮圈に於ける文化厚生施設略説

(第一輯) (暫定稿)

厚生省 人口問題研究所

零







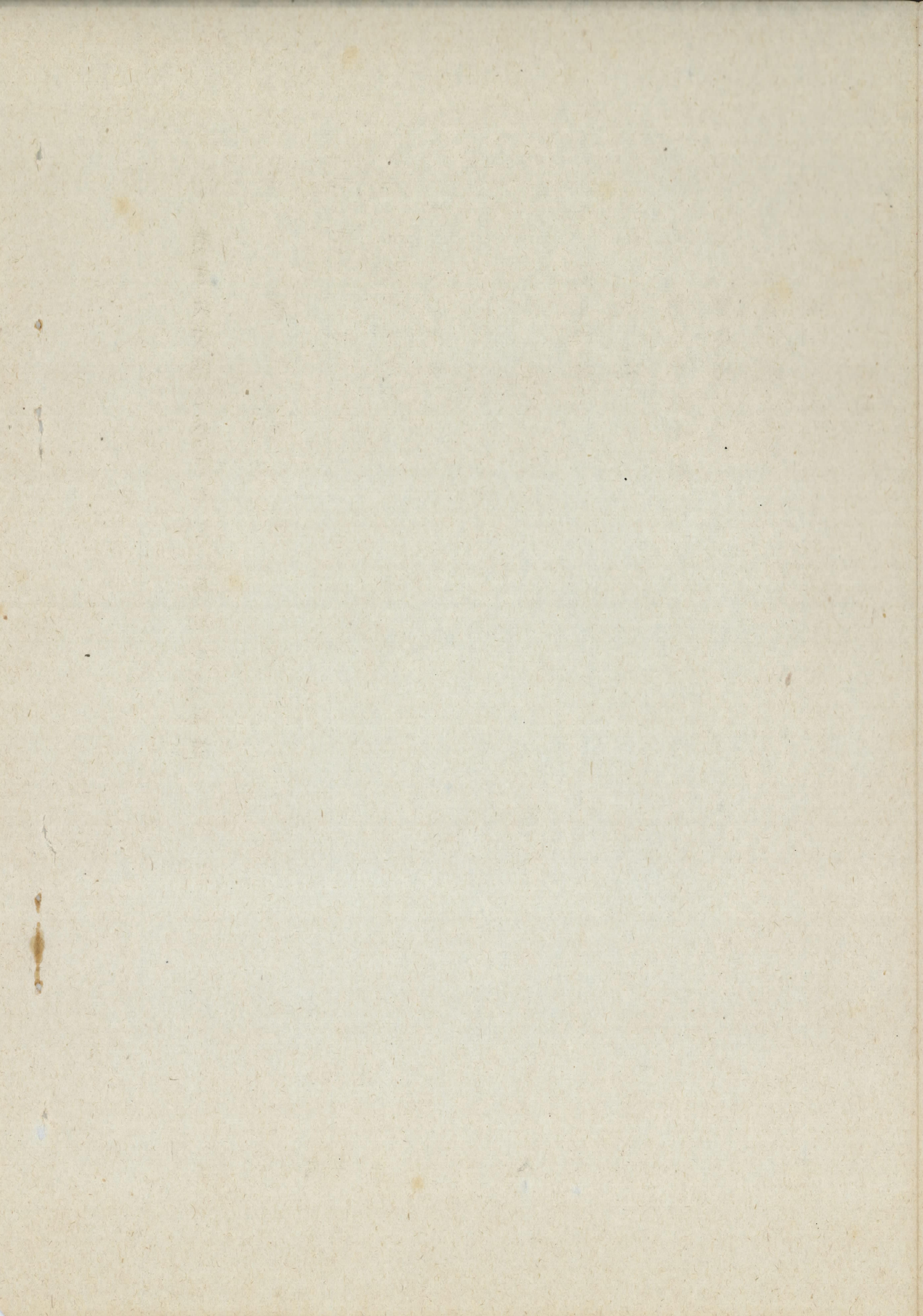
はしがき

本輯は東亜共栄圏に於ける人口配置との関聯に於ける文化厚生施設の配置に関する部内の研究に資する爲、不取最も手近なる台湾總督府調査課編纂「南洋年鑑」、東亜經濟調査局「南洋叢書」並に逸見重雄著「佛領印度支那研究」等の資料に據り、文化厚生施設の配分の概畧を示し假印刷に附し以て今後の研究の一素材となせるものなり。

昭和拾七年三月拾日

厚生省 人口問題研究所







南方共栄圏に於ける文化厚生施設略説

第一輯 目次

一	序 説	一頁
二	佛領印度支那	二
(一)	文化施設	二
(1)	學術調査研究機関	二
(2)	其他文化施設	六
(二)	衛生施設	七
(1)	概 説	七
(2)	衛生行政機関	八
(3)	醫療機関	八
(三)	教育施設	一〇
(1)	概 況	一〇
(2)	教育機関	二



六 茶 國

(一) 文化施設

一四

(二) 衛生施設

一四

1) 概況

一五

(四) 衛生行政機關

一六

(八) 醫療機關

一六

(三) 教育施設

一八

1) 概況

一八

(四) 教育機關

一九

四 英領馬來

(一) 文化施設

二二

(二) 衛生施設

二四

1) 概況

二四

(四) 衛生行政機關

二五



八、醫療衛生機關

(三) 教育施設

1) 概況

2) 教育機關

五、比律賓

(一) 文化施設

1) 學術研究調查機關

2) 其他文化施設

(二) 衛生施設

1) 概況

2) 衛生行政機關

3) 醫療機關

(三) 教育施設

1) 概況

2) 教育機關

二八

二八

二八

二九

三五

三五

三五

三五

三七

三七

三七

三九

四〇

四〇

四一



六、蘭領印度

(一) 文化施設

四五

(二) 衛生施設

四五

(1) 概況

四五

(2) 衛生行政機關

四五

(3) 醫療衛生機關

四五

(三) 教育施設

四八

(1) 概況

四八

(2) 教育施設

四九



那支度印領備

初等教育機関	フランスマ 尋常小学校 原(各地) 現住人 尋常学校 (各地)	中等教育機関	フランスマ 高等小学校 アルルサロ 中学校 (ハノイ) シスルア 中学校 (サイゴン)	高等教育機関	ハノイ 医科大学 (ハノイ) ハノイ 大学 (ハノイ) 印度支那 医業学校 印度支那 美術学校 印度支那 医業学校 印度支那 美術学校 (サイゴン)	実業教育機関	工業学校 (順化) (サイゴン) (サイゴン) (サイゴン) (サイゴン) 海防	特殊教育機関	東埔寨 法政学校 (サイゴン) 安南政府 高等研究所 (順化) 老樞行政 学校 (サイゴン)	学術研究所	印度支那 パストウル 研究所 (サイゴン) 安南政府 高等研究所 (サイゴン) ニマトラン 研究所 (サイゴン)	図書館	ハノイ 博物館 (ハノイ) サイゴン 博物館 (サイゴン) サイゴン 博物館 (サイゴン)	植物園	西貢 植物園 (サイゴン) 西貢 動物園 (サイゴン)	公園	西貢 公園 (サイゴン)	普通病院	ラスサン 病院 (ハノイ) 海防病院 (海防) 西貢ケラル 病院 (サイゴン)	特殊病院	癩疾療養 院 孤児院 精神病院 癩疾療養 所 海上検疫所 避療院	其ノ他	サイゴン 上水 ハノイ 水
--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	-------	---	-----	---	-----	--	----	--------------------	------	--	------	---	-----	------------------------

南方共済園における厚生、文化主要施設一覽表 (括弧ハ所在地)



英 領	泰 國			
イギリス スクール (各地) 馬來語 小学校 (各地) タミール語 小学校 (各地)		官立 小学校 (各地) 公立 小学校 (各地)	初等教育 育機関	教 育 施 設
イギリス スクール (各地) 支那語 中学校 (各地)		中学校 (各地) 師範 学校 (各地)	中等教育 育機関	
キングエド ワッドセド 医科大学 (シンガポール) ラッフルス カレッジ シンガポール 馬來人カレッジ シンガポール ゴイラカヤ (シンガポール)		チユラ ロビン 大学 (バンコック) 農業学校 看護婦学校 養正学校	高等教育 育機関	
ベナン 商科大学 (ベナン) 工業学校 ラッフルス インスティテ ューツ (シンガポール) 商業課程 (シンガポール)		美術工 藝学校 陸軍士官 学校 (バンコック) 海軍 学校 (バンコック) 憲兵士官 養成所 (バンコック) 法律学校 (バンコック) 中央農業 講習所 (クダワラ) 中央美術 学校 (バンコック)	実業教育 育機関 特殊教育 育機関	
吉隆坡 農事試験 場(吉隆坡)			学術 研究所	文 化 施 設
ラッフルス 博物館 (シンガポール) ラッフルス 図書館 (シンガポール) 太平博物館 (太平)		国立 図書館 (バンコック) 国立 図書館 (バンコック) 国立 図書館 (バンコック) 国立 図書館 (バンコック)	図書館 博物館 動物園	
ラッフルス 植物園 (シンガポール) ベナン植物園 (ベナン)			植物園 動物園	衛 生 施 設
太平公園 (太平)		ドウシット 公園 (バンコック)	公園	
普通病院 (各地)	マクユーミク 病院 (チェンマイ)	オウアバ 病院 (バンコック) サニラ 病院 (バンコック) 中央病院 (バンコック) ウヂラ 病院 (バンコック) スリー ラート 病院 (バンコック)	普通病院	衛 生 施 設
精神病院 癡癡養所 産婦小児 救護所 検疫所	チエンマイ 癡癡養所 (チェンマイ)	オウアバ 病院 (バンコック) サニラ 病院 (バンコック) 中央病院 (バンコック) ウヂラ 病院 (バンコック) スリー ラート 病院 (バンコック) オウアバ 病院 (バンコック) サニラ 病院 (バンコック) 中央病院 (バンコック) ウヂラ 病院 (バンコック) スリー ラート 病院 (バンコック)	特殊病院	
シンガポール 水			其ノ他	



賓 律 比	來 馬
尋常 小学校 (各地) 高等 小学校 (各地)	支那語 小学校 (各地)
中學校 (各地) 師範學校 (各地)	
サントトマス 大學 (マニラ) 比律賓 大學 (マニラ) ニエオン スクール (マニラ)	カルタラ インドリス トレーニング カレッジ (マニラ) バカンスライ 職業學校 (バカンスライ) セルダン 農業學校 (セルダン)
農業學校 (各地) 工業學校 (各地) 商業學校 (各地) 航海學校	吉隆坡職業 學校 (吉隆坡)
科學局 (マニラ) 中央 氣象台 (マニラ)	
比律賓 博物館 (マニラ) 比律賓 圖書館 (マニラ)	
マニラ 水族館 (マニラ) マニラ 植物園 (マニラ)	
ルネタ 公園 (マニラ)	
比律賓 公立病院 (マニラ) アルベイ 州立病院 バキオ病院 バタンガ 州立病院 其ノ他	
療養所 (リガニゼイ) 精神病院 孤兒院 療養院 避病院	農場病院
マニラ 水上	



蘭 領 印 度			
初等教育 育機関	歐人 小学校 (各地)	育機関	教育施設
中等教育 育機関	ミコー 学校 (各地)	育機関	教育施設
高等教育 育機関	バンドン 工科大学 (バンドン)	育機関	教育施設
実業教育 育機関	バタビヤ 工学校 (バタビヤ)	育機関	教育施設
特殊教育 育機関	度 量 術 講習所 乙種 小 学 校 養 成 所 養 成 所 養 成 所	育機関	教育施設
學術研究 育機関	農事 試験所 (ボイトン)	育機関	教育施設
図書館	動物標本 博物館 (ボイトン)	育機関	教育施設
植物園	熱帯植物園 (ボイトン)	育機関	教育施設
公園	ウエルヘル ミナ公園 (ハタビヤ)	育機関	教育施設
普通病院	ウエルテア ン中央病院 (ウエルテア)	育機関	教育施設
特殊病院	癩病院 精神病院 精神病者 看護所	育機関	教育施設
其ノ他	バタビヤ 上水 スマラン 上水 スラバヤ 上水 バンドン 上水	育機関	教育施設



蘭

印

第三級

農林學校

(各地)

補修學校

(各地)

回教小學校

(各地)

支那人

小學校

(各地)

家政

事務員

天然痘

職業

分所

試験所

商業

講習所

試験所

農林

講習所

栽培協會

海員

アフロス

原住職業

誠験場

原住補助

原住職業

原住職業

原住職業

原住職業

原住職業

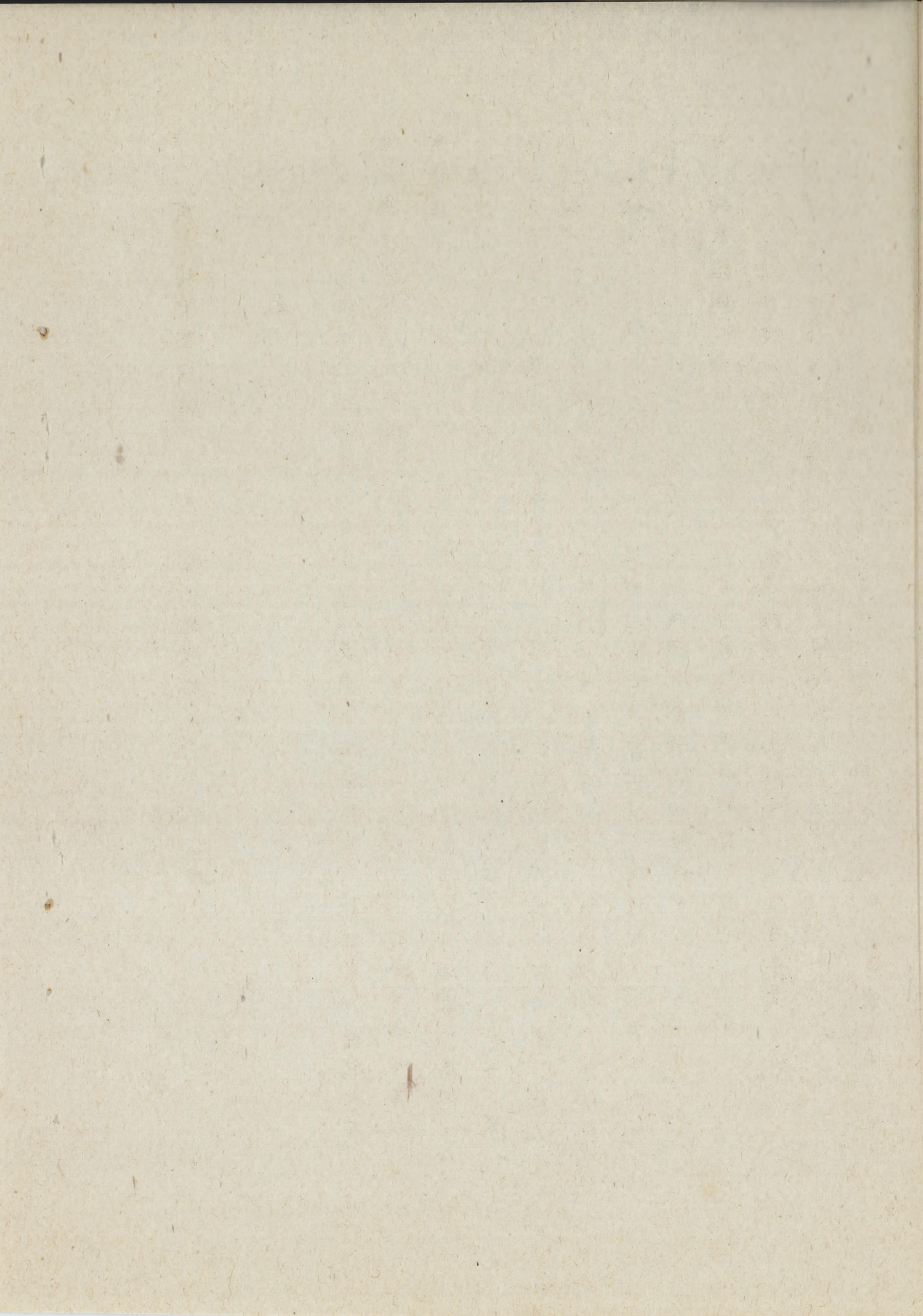
原住職業

原住職業

原住職業

原住職業







東方共榮圈に施ける文化厚生施設略説 (第一輯)

序 説

こゝに取扱はれる佛領印度支那、泰國、英領馬來、比律賓、蘭領印度等の南洋諸地域は泰國を除けば、何れも十八世紀以來、英佛米商西等歐米諸國の植民地として、數百年の永きにわたりこれら歐米諸國の統治下に隷從せしめられ來れるものなり。泰國のみは獨立せりといへども、最近に至るまで、英國の保護の下に、殆んど半植民地状態の下にありたり。したがつてこれら諸地域における厚生文化施設は悉く、前記歐米諸國の植民地統治政策の一環として遂行されたる厚生、文化政策の結果に他ならず。故に、これらの厚生、文化政策を合理的に理解するためには、先づ、欧米諸國に於いて行はれ來れる植民政策の本質を闡明にすると共に、これらの厚生文化政策が、全植民政策中においていかなる意義と目的とを有するものなりやが解明されざるべからざるなり。しかれども、こゝには、これらと同様にたず入ることなく、専ら、東亞共榮圈内南洋地



域の厚生、文化施設を、地域別に、教育施設、文化施設、衛生施設に分つて、列挙するにどぶめ、参考のため、巻末にこれら厚生文化施設一覽表を加へ叙述のたゞざるを補ふこととせり。へ文中シンガポールにつきは、こゝにべられたる諸施設が悉く、英領時代の施設なりしため、昭南島の名を用ゐず、シンガポールの稱呼をそのまゝ用ゐたりし。

## 一、佛領印度支那

### (一) 文化施設

#### い 學術調査研究機關

學術調査研究機關としてあぐべきは、左の如き諸機關なり。

印度支那、バスターナル研究所

本國巴里のバスターナル研究所の監督下にあり、ニヤトラン研究所、西貢研究所及び河内研究所を合せて印度支那バスターナル研究所と稱す。更に本研究所は、スオイジヤオ、トラン、ザリン、ホンバの各植物生物



学試験所を監理す。

本研究所は、一般保健及公衆衛生に関する地方よりの質問に対し、人体及動物細菌学、応用化学の見地より之に答へるとともに、人体及動物病理学、一般保健に関する研究をなすことを以て目的とす。

いま各研究所別にその組織及職務を略述するに左の如し。  
西貢パストワール研究所は次の各部に分たる。

α、人体細菌学：本学部は更に細菌学醫學分析室（一九二九年に於ける各種細菌病者調査数三〇、六六二件） 恐水病室（一九三〇年に於ける治療件数一、八一四件） 天然痘ワクチン室（交趾支那、南部支那、柬埔寨に配布せる種痘ワクチン一九二九年において、五、二四九四、一三〇個 別に乾燥ワクチン製造数三二、二〇〇個 各種細菌ワクチン室（一九二九年、六、ハッハ、三一八個のコレラ、ペスト、腸チブス、淋菌等のワクチンを製造） 巴里パストワール研究所血清治療室（一九二九年製造せる各種血清九四、七〇五筒）乳汁酵母室（一九二九年製造せる乳菌凝乳二五〇立以上）結核研究



所へ一九二九年に於る診察患者数四、〇一四人、製液ワクチン八〇、二七一  
個）マラリア研究室（一九二九年における血清検査人数五八九一人）等  
各研究室に分たる。

乙、動物細菌学部、

丙、化学部、（生物化学研究室、飲料水監督室、不正食料品取締室、  
地方工業に関する應用化学室よりなる）

丁、教育部

戊、調査部

河内、パストウール、研究所は次の各部に分たる。

ア、人体細菌学部（本学部は更に細菌学医学分析室、解剖病理学室  
恐水病室、天然痘ワクチン室、細菌ワクチン室、結核ワクチン室、乳汁  
酵母室、巴里パストウール研究所血清治療室に分たる）

己、教育部

ロ、調査部

ニヤトラン、パストウール、研究所は次の各部よりなる。



2. 実験部、（牛ペスト研究室、獣疫ワタチン室）

3. 教育部

4. 調査部

極東フランス学院

一九〇一年二月大統領令を以て、総督の統轄と佛蘭西学士院の監督下に河内に設立され、印度支那考古学、言語学、東洋史学の研究、歴史の建造物の調査並に保存、印度、支那、日本、馬來等隣接諸國文化の研究を目的とし、優秀なる東洋学者を擁す。さらに本学院は、圖書館及び博物館を附屬せしむ。圖書館は、河内、老樹リュアン、グラバン及び柬埔寨、ポロムペン、博物館は河内及びグキアン、テアヌにあり。

5. 鉱物試験所

印度支那鉱山局下の鉱物試験部に属し、鉱物化学試験所及び金屬試験所よりなる。

6. 気象台、測候所、気温並雨量測定所

東京キエンアン州キエンアンに所在するフリーエン中央気象台の管轄下



に、印度支那各地に測候所及び気温測定所並びに雨量測定所の施設あり。  
測候所総数は一九三一年現在六〇所に達せり。

#### 農学調査研究所

本研究所は、農業、牧畜、森林総督部に属し、一九二五年に設立され、熱帯農業の調査研究を目的とし、植物学及び森林工芸学部、化学部、植物病理学部、植物苗木養成及び公検疫部の四部よりなる。

#### 印度支那、暹羅、海洋部

一九二二年九月十日、総督令により、安南ニヤトラン附近に設立され、暹羅の化学的専門調査、印度支那近海の礦場開発、暹羅工業の調査、海底地図の作成を目的とす。

#### 四、其他文化施設

パノムペン、河内に博物館あり。

図書館は印度支那文庫登録局の所管に属し、河内、中央、図書館及び地方図書館に分たる。中央図書館はとくに印度支那及び東洋関係の文学、



尸史、哲学等の書籍を多数蒐集せり。地方図書館は、安南、柬埔寨、交趾支那及び老撾の各國にあり、安南図書館は順化に、柬埔寨図書館はプームペンに、交趾支那図書館は西貢に、老撾図書館はヴキアムン及び夫々存在す。

さらに、西貢に植物園及び動物園あり。

## 二) 衛生施設

### イ) 概況

本地域は南洋中暑熱最も激しき上、面積極大且つ広汎なる未開地多きため、政府によりて年々衛生施設に對して多大の努力の払はれたるにも不拘、屢々流行病の蔓延をみ、衛生状態甚だ劣悪なりき。しるに最近においては、当局の努力漸く奏功し、罹病者数逐年減少しつつあり。しかれども衛生状態の改善されたるは主として市街地のみにとゞまり、總体的に之を見れば、衛生状態未だ十分良好なりとは認められず、突発的に流行病の猖獗を見ること少ならず。



#### 四 衛生行政機関

本領に於ける中央衛生行政機関は、印度支那保健医務部に於て、別に最高審議機関として総督又は総務長官を議長とする衛生高等会議を有す。聯邦各國の保健医務行政は、局長之を統轄し、別に局長を議長とする地方衛生委員会を有す。更に主要都市には都市衛生常設委員会あり。其他医務施行監督機関として医務検閲部ありて、普通医療機関、土人救護機関、衛生及防疫部、海陸衛生警察部、陸軍々医部、印度支那バストウール研究所並に各私立療養機関を統轄す。

#### ハ 医療機関

印度支那における医療機関は、普通医療機関、医療救護機関に大別する。普通医療機関には、河内ラヌサン病院、海防病院、西貢グラル病院及フオルベイヤル療養院あり。

医療救護機関は、主として土人患者のみを取扱ひ、主要病院、各種研



究所、地方病院、町村病舎、痲疾養老院、孤兒院、精神病院、其の他癩療養所、海上檢疫所、避病院等にして、専ら施療救護を目的とす。

一九二九年における各種病院以下の如し。

- 一 主要病院 九
- 一 各種研究所 九
- 一 地方病院 九三
- 一 町村病舎 四一
- 一 妊婦收容所 三八
- 一 痲疾養老孤兒院 一三
- 一 精神病院 二
- 一 癩療養所 一四
- 一 海上隔離所 二
- 一 避病院 六

合計

五九八



(三) 教育施設

の概況

印度支那に於て、近代的なる教育制度が実施されたるは、十九世紀中葉に於けるフランス領有以後の時期に属す。佛領以前においては、印度支那原住民の文化的水準きはめて低く、その教育も僅かに、古風なる原住民入學堂において、退職官吏等によりて施行されたるに過ぎざりき。佛領後不完全乍ら漸次近代的教育を有する者の数は極めて少数なり。例へば學校教に就いてみるも、日本本州の約二倍に上る宏大なる地域に原住民尋常小學校教け公立四千八百九十一校、私立五百七十九校、計五千四百六十校にして生徒數も合計三十五万五千八百八十一名なる比較的僅少なる數字を示すに過ぎず。かくの如き現在に於ても、原住民の殆んど凡ては近代教育の恩惠に浴せざる状態にあり。しかるに近時に至り總督府當局は銳意、教育の普及につとめるところあり、かくして小学教育費の如きは、總豫算中、東京一割三歩、支那一割一歩、カンボ子マ六歩四厘、老樹八歩、安南一割と比較的高率なる歩合を示しつゝあり。



#### 四、教育機関

##### 1、初等教育機関

初等教育機関はフランス初等教育機関及び原住民初等教育機関の二つに分ちるを得。

フランス人初等教育機関はフランス本國初等教育に準じ、入学者はフランス人に限る。

尋常小学校には男子、女子及び混合の三種ありて各主要都市に設立され、高等小学校及び中学校への入学準備の爲必要な学課を授くるを目的となす。

原住民初等教育はフランス本國小学校教育法に印度支那地方の教育法を加味したるものにして大略前記フランス人初等教育と同様の組織を有す。入学者は原住民に限り、使用語は原住民語にして隨意料として俵語の教育を行ふ。尋常小学校は幼稚科、準備科、尋常科、中等尋常科、高等尋常科の五過程よりなり、年限は五年間にして、就学命令は八才以上十六才までなり。



2. 中等教育機関

中等教育機関も亦 フランス人教育機関及び原住民教育機関よりなる。フランス人中等教育機関には、高等小学校及び中等校の二種あり。とわにフランス本國と同過程による。入学者はフランス人たることを原則とするも、とくに原住民の入学を許可する、ことあり。高等小学校には、河内、西貢に、男子及び女子校若干あり。中学校には河内にアル、ブル、サ、ロ、一、中学校、西貢にシ、ヤ、ス、ル、一、プロ、一、バ、中学校、安南ランビアン州ダラにダラ中学校の三校あり。何れも總督府直轄なり。

原住民中等教育機関には、同じく高等小学校及び中等校の二種あり。高等小学校は四年制にして、男子校、女子校及び男女師範校の三つに分れ、全印度支那に二十二校あり。中学校には、河内に保、蕪、領、中学校、西貢にベ、トリ、エ、ト、ロ、ン、ジ、ン、キ、中学校の二校あり。

3. 高等普通教育機関

フランス人高等教育機関としては、河内、医、学、校、あるのみ。

原住民高等教育機関には、印度支那、医、藥、学、校、印度支那、美、術、学、校、印、



度支那法政学校、獸医学校、高等师范学校、高等农林学校、高等商業、通信学校、土木工務学校あり。又等を総括して河内大学と称す。

#### 4、実業教育機関

実業教育機関には、工業学校及び裝飾工業学校の二種あり。何れも厚住民の職業教育を目的とす。

#### 5、原住民特殊教育機関

原住民特殊教育機関には以下の四校あり。

即ち柬埔寨法政学校は、柬埔寨官吏及裁判官の養成並びに又等官吏に対する補習教育を施すを目的とし修業年限二年なり。

安南政府高等研究所は、安南国令により、安南支那大臣の監督下に設立され、印度支那法政学校卒業生たる安南人学生を收容す。

老樞行政学校は、總督令によりて設置され老樞の官吏志願者に対し、法政補習教育を行ふ。修業年限は二ケ年なり。

フー・ン・ペン・バ里高等学校は、巴里語、サンスクリット語等の特別教育を施し、佛教学研究を目的とす。修業年限は五ケ年なり。



一、 文化施設

文化施設としておぐべきは、国立図書館、及び国立博物館なり。

国立図書館はバンコックにあり。一九〇五年の創設にかゝるものたるが一九二六年の勅令によりて国立文学考古美術院設置さるゝと共に、その一部に改組されたり。本館は二部に分れ、一つはラーマ四世の傳籍時代の御名を記念してヴア、ダ、ラ、ナ、図書館と称され、佛教、文学、歴史、法律等に関する珍奇なる手記、書類、石文、彫刻等を蒐集し、他はロットマ六世の御名を記念してヴア、ダ、ラ、ダ、ツ、ト、図書館と称され、内外の印刷書類、絵画、寫眞を藏す。

国立博物館も、図書館と同じく、国立文学考古美術院の管理に属し、バンコックにあり。印度佛、婆羅門佛、柬埔寨及泰國の青銅佛、及び古代における日用器具を藏し、泰國佛教美術の変遷をうみだはしめると同時に、玉座、乗物、家具、武器、面、樂器、布類等泰國近代美術の逸品を



陳列展覽に供せり。

## 二 衛生施設

### イ 概況

英國における近代の、医療事業は九世紀前半米人宣教師によりて開始されたり。即ち当時英國に来朝せる米人宣教師は、一八四〇年蔓延する天然痘に対して弘く種痘を施行し、さらにチンマイに癩療養所を設置せり。ついで一八九〇年にいたり医学校開設され、更に、英國医療事業漸く整備さるゝにいたれり。英國における医療事業の進歩發達は、とくにマクフェラ財団の援助にまっところきはめて多し。その後一八九七年にいたり保健に関する法律、一九〇一年一〇五年に検査に関する勅令が發布され、コブラ島に永久的な港検査所設立され、且と同時に國立種痘研究所の設立を見る。その後一九一八年勅令によりて現在の衛生局創設され、且が英國における衛生事業を監理すること、なれり。

かくの如く、政府は比較的着実に、衛生施設上の進歩改良をはかりつゝあるも、一般民衆の衛生思想極めて幼稚なるのみならず一方公衆衛生



に無頓着たる多数の下級支那人及び印度人の雜居せるため、社会衛生状態は依然として劣悪にしてしばしば、傳染病の蔓延を見る状態にあり。

#### 四、衛生行政機関

英國衛生行政は、内務大臣の管轄下に専ら衛生局長の管掌するところにして、医師會議及び保健會議を援助す。衛生局は、局長の監督下に、総務、顧問、編輯、都市、工務、藥品貯藏庫、保健、保健医務官の諸課をおき、各般の衛生事務を管掌す。

地方衛生行政は、内務大臣の監督の下に、州総督、縣知事とを司る。一九〇八年の衛生組織法により、各市町村は、衛生局の監督下に、地方自治の权限を賦與され、国立衛生施設と協力し、衛生思想の鼓吹、病院藥局に対する援助等公衆衛生上多大の貢獻をなしつつあり。但しバンコック市は前記衛生局の保健医務官に当る。

#### ハ、医療機関

医療機関として最も活潑なる活動をなせるは英國赤十字社及ロックス、エ、財団、國際保健局なり。



英國赤十字社は、國際赤十字聯盟の一員にして、パンエックに本部をおく。國王の保護監督下にあり、總裁及副總裁は共に國王之を任命す。創設以來異常なる發展をとげ、一九三〇年三月末現在における會員数は總計五五一二五名に達す。同社の事業は、病院部、救助部、保健部、学術部、少年赤十字部の五部に分る。病院部はチエロ、ロンドン、ボト記念病院、ソムデット病院並にサオウ、フ、バ、皇台記念館、病院を至営す。一九二九年度における取扱患者数、前者においては七四九〇九名、後者において四〇〇〇人の多数に達せり。更らに保健部は、公衆衛生班、学校保険班、癩病撲滅事業班に分れ、公衆衛生班は、専ら一般民衆に対する保健相談、諸種の治療、処方箋の発行等に從事し、癩病撲滅事業班は、フ、ラ、フ、ラ、ラン、癩療養所を至営す。

ロツク、フ、エ、ラ、財団、國際保健局の活動は一九一〇年にはじまる。現在においては前記英國赤十字社及内務省衛生局と協力して、専ら十二指腸虫の研究、癩療養事業、公衆保健事業に從事す。右の外、医科大学の設置、マラリアペスト、インフルエンザ、コレラの豫防、並びに英國医師会の



改置等各種社会衛生事業に携はざるなき状態にあり、今日の英國社会衛生上の発達は、本財団に負ふところ極めて大なり。

右の他、医療施設としては、フランスカトリック系サンポール、ドンマルトウル尼僧の聖堂にかゝるサンル牛病院、衛生局の管理下にある中央病院、グザラ病院、伝染病院並びに精神病院、バン、コック療養院、チエラ、ロンドン、コン、大学、医学部附属病院たるスリ、イラ、ゲ、病院、（以上バンエック市）、及び米國長老教会の聖堂にかゝるチエ、ン、マイ、市、等なり。

### 三、教育施設

の概況

英國における教育制度の一應整備されたるは十九世紀末葉のことに属す。これより先、英國における教育は専ら僧侶の掌中に委ねられ、教授法も極めて旧式、不完全なるものなりき。しかるに、一八九一年がムロン親王の歐洲における教育制度視察を契機とし、御雇英人教師の参畫の下に



漸く、近代的教育制度の實施を見るに至り。即ち一八九八年、詔勅によりて従来の寺院学校において一般初等教育實施するにいたり更に一九〇九年一二年に至り、各州縣中心地に師範学校設立され、かくして一九二一年十月、初等義務教育令の發布を見るにいたれり。

しかれども、國民教育の効果は未だ充分ならず、有識階級は悉く王侯貴族、軍人、官吏等の支配階級のみにして、一般民衆は殆んど無智蒙昧の徒なりといふも過言にあらざるの狀態なり。

#### 四 教育機関

##### 一 初等教育機関

初等教官機関即ち小学校は、男女三年制にして一九二一年の初等教育令に規定せる最小限度の義務初等教育を施す。修業年限は七才より一四才迄なり。小学校には、官立及び公立の二種あり。

##### 二 一般中等教育機関



中学校は、豫科（三年）、中等科（三年）、高等科（二年）の二期に分れ、大学入学の準備教育を施す。

### 3. 専門中等教育機関

専門中等教育機関は中学校と同じく、修業年限八年にして三期に分れる。師範学校、美術工芸学校、商業学校、農業学校、看護婦産婆養成学校等よりなり何れも職業教育を施すを以て目的とす。

### 4. 高等教育機関

高等教育機関にはチエラロ、ン、エ、ン、大学あり。本大学は、一九一七年三月二十六日の勅令により、チエラロ、ン、官更養成所及び王室医学校を合併せる綜合大学として、バンコック市にあり。医学部、文理学部、工学部、政治学部の四部に分たる。医学部及び文芸学部はロックフェラー財団の奨学資金の援助によりて設置されたるものにして、とくに前者は泰國社会衛生の改善に資するところきはめて大なり。

### 5. 其他



其他の特殊教育機関として、陸軍士官学校、海軍兵学校、憲兵士官養成所、法律学校、師範学校あり。

さらに、農業技術家養成機関として、文部省の直轄の下にサラブリト縣タブリロンに中央農業教員養成所を設けらる。

また文部省は美術工芸方面にも留意し、バンエツクに中央美術学校を設け、図書教師、籠細工教師、印刷工、工匠、指物師、金銀工、木彫工の養成に当れり。







#### 四、英領馬來

##### (一) 文化施設

文化施設として最も顕著なるは、シンガポールのラッフルス、植物園、ラッフルス博物館及び図書館なり。いづれもシンガポール開拓の恩人ラッフルス卿を記念せんがためにかく命名されるものなり。

ラッフルス博物館及び図書館は、一八七四年設立され、博物館ハひろく南洋に關する資料を陳列し、石器時代の遺物及び考古学参考品たる馬來の碑石を蒐集し、図書館には、マレー研究の權威書たるローゲン文庫及びゴスト文庫を收藏す。

ラッフルス植物園は、一八二二年ラッフルス卿自身により、總督官邸の土地四十八エーカーを選定し、熱帯植物の培養を初めたるを鑑賞とす。ついで一八五九年にアグリカルチュアソサエティ創始されるや、植物園は現在の場所のラッフルス一八六六年花壇及び池設けられ、庭園拡張せしめられ現在の如き大規模なる植物園となりたるものなり。南来吉隆坡の



農事試験場と云ひ、馬來の經濟的發展に寄與すること大いなるものあり。

吉隆坡の農事試験場は諸種の熱帯植物を試植し馬來の用苑に資するところ大なり。

其の他文化施設としては、太平の博物館、彼南の植物園あり。

### (三) 衛生施設

#### (イ) 概況

馬來半島における衛生状態は、英領以來著しく改善されるを、亦必ずしも良好なりと云ふを得ず。死亡率は一九二七年以來遞減を見つゝあるも、海峡植民地に於いては一九三〇年二七・三二、馬來聯邦に於ては同年二四・一〇を示し、未だ著しい高率を示す。此は、即ち風土病（マラリア、赤痢、脚氣、十二指腸虫、肺結核）及び傳染病（ペスト、コレラ、天然痘、チブス、癩病）の猖獗することの原因とするものなるも在住支那人、馬來人、印度人の衛生思想乏しく、又血未敷増する移入



民及びその家族が国土に於て、その上体格不良なる者多きこと、死  
亡率高きことの一因をなすものと思惟さる。医務当局は、あらゆる手段  
を講じて衛生状態の改善に努力しつゝあり。

(四) 衛生行政機関

海峽植民地、馬來聯邦及び同非聯邦は各独立の医務局を有し、之は保  
険部、社会衛生部の二部に分る。衛生機関は一般的なるもの及び地  
方的なるものあり。一般的衛生機関としては政府所屬の医務官團、地方  
的衛生機関としては、市町村に於ける各種衛生団体並に農園、鉦山等  
に於ける労働局關係の諸施設あり。ミンガポール、彼南等は、独立の衛  
生教師を有し、その他の市町村及労働局に於ては医務官團衛生部の技  
師、衛生事務に當る。その他政府は衛生上の特別問題、たとへば、マラ  
リア防遏、小兒保健、公衆衛生、学校衛生等の問題を取扱ふために、各  
別に特別委員会を設く。たとへば、馬來聯邦にはマラリア防遏委員会、  
各邦には蚊撲滅委員会組織され、さらに馬來聯邦には、小兒保護諮問委



頁、組織されるが如し。

とくに、こゝに注目すべきは、労働法が、苦力労働者のために適当なる住宅の建設、充分なる衛生施設、健康に適する用水の供給、病室の設備、マラリア防遏上の施設を雇主に要求せることなり。

(ハ) 医学衛生機関

海峡植民地及び馬來聯邦における医療機関は次の如し。

○ 海峡植民地

- 一 普通病院 一五
- 一 精神病院 二
- 一 婦人病院 二
- 一 脚氣病院 一
- 一 院外治療所 二
- 一 移動治療所 四
- 一 癩療養所 三



○

馬來聯邦

計

花柳病療養所

瘧疾所

刑務所病院

產婦小兒救護所

官立醫學研究所

歐人病院

地方病院

婦人病院

精神病院

癩療養所

施療所

檢疫所

	三				三				五			
二	〇	三	一	三	四	四	一		九	一	三	三



一	養	老	院	四		
一	小兒	救	濟	所	四	
一	花柳	病	療	養	所	四
一	刑務	所	病	院	五	
計				九七		

以上の他馬來聯邦及海峽殖民地には約二百に達する農場病院あり。農場專屬の醫師を有するもの他の助医をおき、巡回医をして之を監督せしむ。

(三) 教育施設

(1) 概況

英領馬來における教育の歴史は、一八三三年サー、スタンフォード、ラッフルスガ、ミンガポールに、今日のラッフルスインステイト、ユーニ、オンを設立せる時を以て始まる。爾後百年間の教育の普及は、今日英領馬來における教育を、英語使用教育、馬來語使用教育、タミール語使用



教育、支那語使用教育の四種に分つていゝなり。

原住民語を使用する学校は、一八七八年ほじめて設立され、その後一九〇一年のいなり原住民学校において使用さるべき馬来語文典の出版さるゝに及ぶ、原住民語を使用する原住民教育は着しく促進せしめらるなり。元來馬来人は女子を閉居せしむる風習を有し、女子教育の對して一種の偏見を持す。かくの如き陋習は、適當なる婦人教師を彼等の間に見出しえざることとあいまつて、馬来人の女子教育を著しく困難ならしめつゝあり。

海峡殖民地及馬来聯邦政府は、補助を申請する支那人學校の對してはつとめて之を補助する方針をとり、さらに又海峡殖民地勞働法は七才乃至十四才の兒童を十人以上有する農園の對しては、夫等の兒童がいかなる種族なるやをとはず、園主の負擔の對して學校を開設すべき規定を設け、教育の普及に努力しつゝあり。

#### (四) 教育機關



一、海峽植民地及馬來聯邦

A、先づ英語使用教育機関について略述すれば次の如し。

1、初等及中等普通教育機関

イングリツシエスクール

英語使用学校は初級、中級、上級の三課程に分かれ、修業年限は七年なり。上級における教育はケンブリツジ、大学をはじめ、ロンドン大学、ホンドン大学は、シンガポール医科大學等の入学試験のため必要なる準備教育を施すを以て目的とす。右の如く海峽植民地及び馬來聯邦においては、従来初等教育及び中等教育はイングリツシエスクール内において合同して行はれるが、近來政府は多数の初等学校を新設し、都市においては官立中等学校を新設して、これを分離せんとする傾向あり。

2、高等教育機関

英領馬來に於ける高等教育機関としては、シンガポールのキング・エド、



ワ、ト、ド、セ、世、医、科、大、学、ラ、ツ、フ、ル、ス、カ、レ、ツ、ジ、エ、ト、ラ、カ、ン、サ、ー、の、馬、来、人、カ、レ、ジ、の、三、校、あ、り、。

キング・エドワードセ世医科大学は一九〇五年設立されたる官立医科  
大学にして馬來の最高学府なり。設立の際エドワードセ世記念基金中  
り多額の寄附を得たる關係上、右の如き名稱を有す。修学年限は六ヶ年  
りして、本学に入学し得るものは、英領馬來に於て出生せる者又は馬來  
のわいて教育をうけたる者に限る。本校の卒業証書所持者は、英帝国の  
何処に於ても同業の資格を有するものと英蘭医師会によりて認定され  
り。以て本大学施設の充實せるをしるべし。

ラ、ッ、フ、ル、ス、カ、レ、ツ、ジ、は、英、領、馬、来、住、民、の、子、弟、に、対、し、医、学、外、の、高、等、教、育  
を授くるための一九二八年シンガポールに設立されたるものにして、ラ  
ッフルスのシンガポール同郷百年祭を記念するものなり。

修業年限は三ヶ年、現在は、教員養成所、農業部、行政部、科学部を設  
く。



馬來人カレッジは、馬來人間の英語及び、英語によりて學術を教授せんとする目的のため設立される學校にして、主として英領馬來の支配者及土候の子弟在學す。

### 3、専門教育機関

師範教育機関としては、シンガポール、馬來、彼南、タイピン、イボに設立される教員養成所並に多くの女子教員養成機関としてシンガポール、ラッフルス、女學校あり。

さらに彼南高等學校、ラッフルス、インスライ、チエ、ミオン、高業課、官立工業學校等の専門教育機関あり。その他吉隆坡及びバガンスライの職業學校、セルダン農事試験場内の農業學校あり。いづれも専門の技術教育を施すを以て目的とす。

B、次に馬來語使用教育機関について述べん。初等教育は専ら各地の馬來語使用學校において行はれ、これらの初級學校に於ては、學術上實際上の題目を取扱へる馬來語の教科書を使用し、男兒學校に於てはとく



の手工業及び農業上の智識を修得しむるを目的とす。  
さらにサルタン、イドクリス、トレニング、カレツジあり。本校は一  
九二二年馬來聯邦政府によりてペラ州タンジョンマリムに設立されたる  
中央師範学校にして、村落における土人学校教師の養成を目的とす。

C、さらに海峽植民地に三一校、馬來聯邦に三三三校のタミール語使  
用学校あり。これらの学校は凡て政府督学官の指圖監督下にあり。

D、支那語使用学校は一九一一年以來諸処に設立され、その内大多數  
のものは一般公衆よりの寄附金により支那人委員によりて維持され、其  
の他は個人、支那人同郷団体及びキリスト教布教回によりて維持される。  
これら支那語使用学校の大多數は小学程度なるを、檳南及イポーには、  
中学校、シンガポールには中等部及び師範部を有する学校一校あり。

## 二、馬來非聯邦

ジョホール州

首府ジョホール、バールの英諾カレツジあり。



其の他同州には英語学校五校、馬來語師範学校一校、原住民語学校九一校、宗敎学校三一校及びタミール語学校二校あり。その他市街地及び大村落には支那人の管理する支那人学校あり。又別々ゴム会社が自己の農園のタミール人労働者の子弟敎育の爲めに設けたる少数のタミール語学校あり。

ケラントタン州

本州に於ては二、三の英語使用学校を除き、他は主として原住民語使用学校にしてその数六十六校に及ぶ。

トレンガヌ州

土語使用学校十七校、政府英語学校一校、支那人学校一校あり。

ケダ州

土語使用学校七四八校、英語使用学校二校あり。

パリス州

土語使用学校十八校あり。



## 五、比 律 賓

### (一) 文化施設

#### (イ) 學術研究調査機関

學術研究調査機関としてあげべきは科学局及中央气象台なり。科学局はマニラ市にあり。比島科学研究の中樞をなし、化学、地質、応田薬学、臨床薬学、植物動物及び人類学の七課より成り、優秀なる多クを擁し、研究の結果は、本局発行の定期刊行物ジャーナルオブサイエンス及び不定期刊行のモノグラフ上に発表さる。米国防軍は同局内に熱帯病研究部を特設し、常に数名の軍医を任命して研究に當らしめ、日本政府からも亦研究員を特派しありたり。

中央气象台は、西班牙統治時代、一八六五年、ゼヌイト漁により創立されたるものにして、來 且つ最重要なる天文台を有し、巨大且つ精巧なる望遠鏡の設備を以て名あり。

#### (ロ) 其の他の文化施設

マニラ市に比律賓博物館あり、比島教育部の管轄に係り、古代動植物



に關する幾多の貴重なる模型並に參考資料を藏し、帽子、籠類、農具、武器其の他各種資料を陳列す。

さらに、本博物館は附屬図書館を有す。各種の比律賓關係書籍、字本、美術品等を普く收藏す。

其の他の文化施設としておぐべきは、マニラ水族館及び植物園あり。マニラ水族館は科学局の管轄に属す。長さ二百七十五呎、幅二十五呎の一條のコンクリート隧道を築き、こゝに二十七ヶのタンクを設け、その規模きはめで大あり。海膽、海盤車、海蛇、河豚、巨蟹、たつのおととして、其の他珍奇美麗なる魚類數十種を陳列し、さらに鰐魚、鱧、亀及び大蛇を飼育陳列す。

マニラ植物園はとくに各種の熱帯植物を多数育成す。

(二) 衛生施設

(イ) 概況

比律賓における衛生施設の整備されたるは米國領有以後のことに属す。



即ち、西班牙領有の三百年間において、衛生施設として、とくに見るべきものなく、主として宣教師が一般患者に施薬する程度にすぎざりき。従つて死亡率もたかく死亡率は最近（一九三八年）における一六、二に比し、たとへば一八七六年二六、七、一八八五年二八、九、一八九八年三〇、五の高率を示せり。

しかるに比律賓領有後、米國は、専心衛生設備の完成及び教育の普及につとめ、その結果、衛生状態は著しく好転し、現在においては、比律賓は南洋各地中第一の健康地と称せらる。

#### (四) 衛生行政機関

比律賓における衛生中央機関は教育部内の衛生局あり。衛生局の所管事項は次の如し。

- 1、官立病院及療養所の指揮管轄
- 2、伝染病院の監督、伝染病患者の捜査、監禁及び隔離に関する規



3、 学校衛生の監督、刑務所、ペナルヤートルメント、留置場及捕縛  
人、罪人等留置所衛生の監督

4、 伝染病流行期における凶國檢疫の施行、

5、 死亡者の衛生的處理及墓地衛生の監督、

6、 一定の期間或は必要ある時、隨時痘菌、血清或は予防薬による  
群島民接種の施行

7、 乳児に関する注意及伝染病予防方法に関する群島民衛生思想の  
普及、

8、 隨時衛生機関の検査

9、 次の各事項に関する調査、関係統計及び情報の蒐集、即ち比律  
賓群島一般の人口統計、疫病殊に伝染性疫病の原因、病状、及  
び予防法、比律賓群島砒水に関する化学的組織及医学的性質等。  
さらに、地方機関として、群島を適當なる衛生区に分ち、各  
区に区衛生官をおく。区衛生官は管轄区々衛生事業の監督をお



し、又市区衛生會議或は其の他の衛生機關及地方衛生官吏の監督の任に当る。

(ハ) 医療機関

比律賓における多数の医療機関中代表的なるものは内務部所屬の比律賓公立病院なり。其の他各官署所屬別病院数は次の如し。

- 一 衛生局所屬病院 三七
  - 一 司法部所屬病院 三
  - 一 陸海軍所屬病院 七
  - 一 社会団体所屬病院 八
  - 一 内務部所屬病院 二
  - 一 公益委員会所屬病院 七
  - 一 教会所屬病院 一八
  - 一 企業家所屬病院 四
- 計 八六



## (四) 教育施設

### (イ) 概況

比律賓における教育制度が整備されたるは、西班牙の統治下において、植民大臣ホセデラコンチャ (*José de la Concha*) によりて發布されたる重要法令にはじまる。即ち一八六三年、西班牙政府は公立学校制度の樹立を決し、其の爲に比律賓行政組織の改革を試むるが対比重要政策の一なることを看取し、同年十二月二十日上記ホセデラコンチャの重要法令發布されるにいたれるあり。その内容は、きはめて広汎なる範圍にわたり、現在における比律賓教育繁栄の基礎之にありといふも過言ならず。即ち、その内容とあるところは、ゼスイット派によるマニラ市における師範学校の設立、島内各所における少年少女小学校の設立、授業料免除、義務教育制度の確立、教育費の地方政府負担、学校教員の戸税免除、五年後教育に対する校長或は地方貴族たる資格の賦与等あり。斯くの如くして計画されたる教育制度は漸次実現を見、西班牙領有の末期において



は全島に二千百の学校開設され、教育は普及さるると同時に、却ては勿論何んの地方に於ても西班牙語を話すもの多く、遂に、西語が國語あるかの觀を呈せるにいたれり。

米國領有以前における教育状況は以上の如くなるが、一八九八年八月三日米軍のマニラ占領以來、比律賓の統治權は米國の手中に歸し、爾來比律賓における教育制度も漸次米國の統治下に整備さるゝにいたれり。

即ち一九〇〇年六月に着比せる比律賓委員会は、マツケンレイ大統領の指揮をうけ、立法機關をして翌年一月二十一日學校法を制定せしめたり。本法は其の後幾多の改正をみたるも、最近にいたるまで比律賓教育行政の根本をふし各公立學校の監督指揮を教育局に集中せるものあり。其の要点を要約するに次の如し。教授法は自由なるも非宗教的なること。用語は英語なること。宗教に關するものは僧侶によりて教育せらるべきこと。男女共學制なること。同時に師範學校及び貿易學校の設立も認可されたり。その後一九〇三年及び四年に及び地方情勢漸く教育の普及を急



激に要求するに至り、教育局長の任命、視学官及教師の増員行はれ、教授課目制定され、こゝに比律賓教育制度は完備さるるにいたれり。

最近においては、一般公文書には殆んど英語を用ひ、立法部において、英語を國語にせんとする議起り、米國教育の余沢を被れる代議士、教育家の如きは、之が實現に専念せるも、近來比島大学教授、学生間には「國語獨立」の議忽然として起り、カタログ語を以て標準語と云ふんとする運動熾烈ならんとしつゝあり。

#### (四) 教育機関

比律賓においては各種学校を通じ就学者には年令の制限なく、男女共学を旨とすることを特徴とす

学校制度は、尋常小学校、高等小学校、中学校、大学の四に分たる。さらに小学校には普通小学校、工業学校、農業学校及び商業学校の各校を含み、中学校には、普通中学校の外に師範学校、農業学校、工業学校、商業学校、航海学校の諸校を含む。何れも英語を以て教授用語とす。



最高学府としては、比律賓公正大学、サントトマス大学をはじめ数多の私立大学あり。

比律賓大学は、一九〇八年第一次比島議會を通過したる大学令によりて創立されたる比島唯一の官立大学あり。本校をマニラ市に、分校をセブ市に、農科及獣医科をラゲナ州ロスバニオスにおく。同大学は、文科、法科、教育科、医科、工科、獣医科、農科に分れ、一九二四年新学期より東洋語学科を新設し、日本語及び支那語の教授を行へり。医科附属として別に齒科、薬剤科をおき、又音楽学校、美術学校、山林学校も之に附属す。

サントトマス大学はマニラ市にあり。一六一一年に創立され、東洋におけるミッションナルなる大学中最古のものあり。即ち同大学はカトリック教ドミニカン教派の聖堂にかゝる。本学は医科及び法文科に分れ、とくに図書館は幾多の貴重なる書籍及び標本の蒐集を以て著名あり。

其の他私立大学中にありては、ユニオン、スクール、カ優秀なる教授を網



羅シ、學生收容數も多く、有力なる卒業生を出せるを以て名あり。



## 六、蘭領印度

### (一) 文化施設

蘭印における文化施設として最先にあげらるべきは、ホイランツル本なる熱帯植物園なり。蘭印政府農工商務部の管理下にあり、その規模世界第一と称せらる。

さらに本園の内部及び周囲には、動物標本博物館、林学試験所、天然物博物館、腊葉館、農事試験所、トレラブ実験室、有用植物園、植物病理研究所、内水養業試験所、農学校、獣医学校あり。

さらにメダニに、テリ、煙草試験場、栽培協会、アフロスタ、的試験場あり。またバンドンにはバスター、伝染病研究所及び天然痘研究所、バタビアには衛生試験所あり。

### (二) 衛生施設

#### の概況

蘭印における一般衛生事項は、教育宗教却衛生局の管掌事務に属し、



爪哇の各省及び各領各州にわづか独立の衛生機関設けられ、人類及家畜の疾患の豫防、撲滅に努力しおるを領土広汎にわたるため、政人居住者少き地方においては衛生施設も自ら幼稚なるを免れず、爪哇マツラは、他の諸島と比較して衛生施設も整備し、病院も少からず存在す。

#### 四) 衛生行政

蘭印における衛生行政は、宗教教育部の所管に属し、衛生局長之を司る。衛生行政区割は、西部爪哇、中部爪哇、東部爪哇、東部蘭領印度、南部スマトラ、北部スマトラ、バンカ、ビリトンの七区に分れる。また外領の其他の部分においては、陸軍や医部の監督下に同一に区分され、各地区に駐在する軍医の監督下にたつ。各港湾には檢疫制度を設け、必要に応じて入港船舶の檢疫をなす。

蘭印政府は、風口各種伝染病豫防規則を制定し、殊に、ペスト、シフテリア、腸チブス、天然痘、コレラ、赤痢、腦脊髓膜炎の侵入を防ぐため嚴重な取締規則を設く。



ハ 医療衛生機関

病院は官立、公立、及私立病院合計一〇四を数ふるも、設備の完備せるは主として官立病院にして、ウエルテフレーション、マスマラヤ、スラバヤに中央病院、バンドシに眼科病院あり。病院数を種類別に掲ぐれば次の如し、

一	一般病院	四八八
一	衛戍病院	七六
一	官業附属病院	一二
一	癩病院	四四
一	刑務所附属病院	三三
一	眼病院	四
一	精神病院	四
一	精神病者救護所	一〇
一	外來患者診察室	四三三

六二〇



尚右の他、スマトラ東岸諸州を初め外領各地における農園の附属病院  
二六あり

(三) 教育施設

の 概 況

蘭印における教育施設は、政人の教育を目的とするものと原住民の教育を目的とするものに二大別される。原住民に対する教育は、極めて僅々たる発達を示すにすぎず。之は一割には蘭印政府が、教育の普及の原住民中に民族自覚思想の擡頭を招来せしむることを恐れ、教育施設の改善に力をを用ふることを回避せるに由り、かくところならむ。一般に、政人及び政人と同等の教育をうくることを希望する者に対しては七年程度の小学校、五年程度の中学校及び大学教育授けられ、一般土民子弟に対しては三年程度及び五年程度の小学校あるのみ。別に師範学校、工業学校、農学校、医学校、航海学校、獣医学校、家政学校等の各種専門職業学校、小学程度のミッシェンスクール、回教主義の小学校等あり。



學校以外の庶民教育としては、教育宗教部長官の管下に庶民教育委員なるものあり日刊、週刊及び二週一回発行の原住民語新聞、法律至済に關する原住民語、蘭語対照のパンフレット等を発行し、別に簡易圖書館を丕營し、以て一般原住民の啓蒙に努む。

#### (6) 教育機関

上述の如く、蘭印の教育機関には、一般原住民子弟の教育を掌るものと、欧式教育をうくることを希望する者に対する教育を掌るものとの二種あり、前者は原住民語を、後者は蘭語を以て教授す。先づ欧式學校の種類及び内容を列挙するに次の如し。

#### A. 欧式學校以下の如し。

##### 1. 初等教育機関

初等教育機関には、欧人小学校、蘭土小学校、蘭支小学校、連鎖學校、特殊初等學校あり。欧人小学校は和尚本口の小学校に則り、主として欧人及び欧人待遇をうけつゝある者の子弟を收容す。蘭土小学



校は大略欧人小学校と同程度にして原住人有力者の子弟を收容す。  
蘭文、小学校も同じく支那人有力者の子弟に改式教育を授けること  
を目的とし、欧人小学校に準ず。連鎖学校とは、原住人小学校よ  
りミミコロ一學校及其他上等學校へ進學するた  
り。或は改式小学校卒業と同資格をうるために入学する學校なり。  
特殊初等學校とは、夜間或は晝間に、小学校において充分に蘭語  
教育をうけえざる者に對して補習教育を施すことを目的とす。

### 二、ミミコロ教育機関

一種の下級中学校にして、改式初等教育をおへたる生徒を收容  
し、終了科及び準備科に分たる終了科は、卒業後直ちに職業に  
つく者のために設けられ、準備科はさらに上級中学校に送ら  
るもの準備教育を施す。

### 三、中等普通教育機関

一、



之は、H、B、S、中学校及びA、M、S、中学校に分たる。前者は和蘭本口のH、B、Sと其の科程を同じくし、主として蘭領各大学及び本口の上級学校へ進む子程を教育し、後者は、ミエロー学校修了科卒学生に中等教育及び高等準備教育を授くるを目的とす。  
高等教育機関  
高等教育機関には、バンドン工科大学、バタビア法科大学及びバタビア医科大学あり。

バンドン工科大学は一九二〇年バタビア法科大学は一九二四年、バタビア大学は一九二七年の創立にかゝる。

### 5. 実業教育機関

実業教育機関には各種あり。

工業教育機関としては、政人職工学校（バタビア）工業学校（バタビア）、スラバヤ、バンドン、スマラン、ガヨクガア）、度量衡講習所、砂糖学校、教育養成機関としては、幼稚園保母養成所（バンドン）



乙種小学教員養成所（バタバヤ、バンドン）、甲種土人小学教員養成所（マヂラン、バンドン）、蘭土師範学校（バンドン、マヂラヤ、カルタ、ブリタル、フォートデコック、アムボイナ）蘭支師範学校（メリステルコルネリス）永政科女教員養成学校（バタバヤ）、言語地煙土俗学講習所、商学教育機関としては、高等学校（バタバヤ、商学補習学校（バタバヤ、スラバヤ）、農林教育機関としては、農業学校（ホイランゾルホ）、栽培学校（スカガミ、マラン）、蘭領印度獣医学校（ホイラレゾルホ）、あり。其他、行政官吏養成機関として、原住人官吏養成学校（バンドン、マヂラン、マヂウン、プロボリング、フォートデコック）、行政学校（バタバヤ）、總督府、般會計官吏養成所（バタバヤ）、事務員養成所（バタバヤ）、あり、医学教育機関としては原住人医学校（バタバヤ、スラバヤ）、分拆講習所（バタバヤ）、藥劑助手養成所（バタバヤ）、齒科医学校（バタバヤ）、あり、海員養成機関としては、海員講習所（バタバヤ）



ア、あり、女子職業教育機関としては家政学校及び職業学校あり。

次に原住人式学校をめぐると、普通初等教育機関には、庶民学校、第二級原住人小学校及補助習学校、私立回教小学校、私立支那人小学校あり、さらには実業教員機関については工学教育機関としては、原住人職工学校あり、教員養成機関には、庶民学校教員養成所、原住人補助教員養成所、原住人職学教育教員養成所あり、其他、商業補習科、原住人農業実習科、看護人養成所、マカツ、サル、原住人海員養成所、家政科講習所等あり。



